



字國團章程

1593



414
A2796
1



平田東助抄譯

團憲法

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈
平田東助抄譯

第一 團界
第二 管民ノ権理及責務
第三 團務原則

第二編 職制及吏負
第一 其要則

第二 區務所、區裁判所、并特立私領地ノ區務規則
第三 邑長邑長 邑裁 邑判 邑古ノ遺制ニ任テ 村ノ権理及責務ハ土
地ノ所有ニ関スル法ヲ廢止スルニ係ル規程

第四 郡及郡長郡一縣ノ中ヲ以テ行政ノ便ニ供ス
第五 與議官與議官ハ人民ノ代表ニシテ縣務ヲ施行シ縣會及縣

長ヲ兼テ議

區務所ノ費用ハ
當今親譯中

第六編 諸官廳ノ強迫権限

第三編 議院及行政

第一 團會撰舉規程

第二 團會々議及事務章程

第三 團費會計

第四 團總代

第五 團事務官

第四編 府

第五編 改監督

第六編 撤遷及波前西道省ニ涉ル假規則

第七編 以上諸則施行規程

按スルニ亭國區畫ノ法ハ往古ノ久畫ニ基キタルモノニシテ全
 國ヲ道省ニ分テ每省長一人ヲ置ク各省ノ中分ケテ教團英語ル
 又ト云フトナレ會議及總代ノ設アリテ別ニ行政管廳アル
 ナレ一團ノ中又教管轄地方ニ分テ一々行政管廳ヲ設ケ行政ノ
 便ニ供ス其制度凡ソ我カ縣廳ノ如ク而小ナル者トス此ノ管轄
 地方ノ下ノ則テ郡及區ニシテ郡ハ通常區ノ上ニ位シ教區ヲ合
 レテナル者ナリト虽モ間々又一郡ニシテ直ニ一區ナルアリヌ
 區ニ二様ノ別アリ甲ハ通常ノ區ニシテ人民ノ共立ニ屬レ乙ハ
 一部落ノ一所有主ノ所領ニ屬レ其大能ク一區トナスニ足ル者
 ヲリナル甲ノ區長ハ區内人民ヨリ之ヲ撰任シ乙ノ區長ハ所有
 主則テ其長ニシテ通常領主ト稱ス而其區務規程ノ如キハ兩者
 槩子相異ナルナキヨ以テ今特ニ甲ノ區務規程ニ就テ其抄譯ヲ

大 卷 目

第六編 諸官廳ノ強迫権限

第三編 議院及行政

第一 團會選舉規程

第二 團會々議及事務章程

第三 團費會計

第四 團總代

第五 團事務官

第四編 府

第五編 團改監督

第六編 撤遷及波前兩道省ニ涉ル假規則

第七編 以上諸則施行規程

卷三

按スルニ亭國區畫ノ法ハ往古ノ久畫ニ基キタルモノニシテ全國ヲ道省ニ分テ每省長一人ヲ置ク各省ノ中分ケテ教團英語ル又チストリクトナレ會議及總代ノ設アリテ別ニ行政管廳アルナレ一團ノ中又教管轄地方ニ分テ一々行政管廳ヲ設ケ行政ノ便ニ供ス其制度凡ソ我カ縣廳ノ如ク而小ナル者トス此ノ管轄地方ノ下ノ則チ郡及區ニシテ郡ハ通常區ノ上ニ位シ教區ヲ合シテナル者ナリト虽モ間々又一郡ニシテ直ニ一區ナルアリ又區ニ二様ノ別アリ甲ハ通常ノ區ニシテ人民ノ共立ニ屬シ乙ハ一部落ノ一所有主ノ所領ニ屬シ其大能ク一區トナスニ足ル者ヨリナル甲ノ區長ハ區内人民ヨリ之ヲ撰任シ乙ノ區長ハ所有主則チ其長ニシテ通常領主ト稱ス而其區務規程ノ如キハ兩者槩子相異ナルナキヨ以テ今特ニ甲ノ區務規程ニ就テ其抄譯ヲ

大義 録

團費會計

- 第六編 諸官廳ノ強迫権限
- 第三編 議院及行政
 - 第一 團會撰舉規程
 - 第二 團會々議及事務章程
 - 第三 團費會計
 - 第四 團總代
 - 第五 團事務官
- 第四編 府
- 第五編 團改監督
- 第六編 撤遜及波前兩道省ニ涉ル假規則
- 第七編 以上諸則施行規程

尾

按スルニ李國區畫ノ法ハ往古ノ久畫ニ基キタルモノニシテ全
 國ヲ道省ニ分テ每省長一人ヲ置ク各省ノ中分ケテ教團英語「レ」
 又チストリクトナレ會議及總代ノ設アリテ別ニ行政管廳アル
 ナレ一團ノ中又教管轄地方ニ分テ一々行政管廳ヲ設ケ行政ノ
 便ニ供ス其制度凡ソ我カ縣廳ノ如ク而小ナル者トス此ノ管轄
 地方ノ下、則チ郡及區ニシテ郡ハ通常區ノ上ニ位シ數區ヲ合
 レテナル者ナリト虽モ間々又一郡ニシテ直ニ一區ナルアリ又
 區ニ二様ノ別アリ甲ハ通常ノ區ニシテ人民ノ共立ニ屬シ乙ハ
 一部落ノ一所有主ノ所領ニ屬シ其大能ク一區トナスニ足ル者
 ヲリナル甲ノ區長ハ區内人民ヨリ之ヲ撰任シ乙ノ區長ハ所有
 主則チ其長ニシテ通常領主ト稱ス而其區務規程ノ如キハ兩者
 緊ニ相異スルナキヲ以テ今特ニ甲ノ區務規程ニ就テ其抄譯ヲ

團費會計
 西寺觀澤中

呈
コ
リ

第二編 職制及吏員

第二 區務所

區長及書記

(第二十二條) 區務所ハ區長一員書記二員ヲ置ク書記ハ區長
助ケテ區務ヲ施行シ其支障アリテ又席スルハ之ヲ代理ス
若レ區務所ノ吏員ハ今般制定スル所ノ數員ニ超レトモ之ヲ減
スルヲ要セス
又書記ノ負數ハ其區ノ請求ニ從ヒ郡長承諾ノ上團總代ヨリ増
加ヲ許スヲ得ヘシ

四
四

(甲) 撰舉

(第二十三條) 區長及書記ハ區民代議ノ權理アル者ノ中ヨリ區
會ノ衆議ニ依テ之ヲ撰任ス
父子共ニ齊ク區務所ノ吏員タル能ハス
撰舉方法ハ此ノ條例附録ノ撰舉規程ニ則ルヘシ
(第二十四條) 區長及書記ハ六年ノ任期ヲ以テ撰ムベシ
(第二十五條) 區長及書記ノ官ニ就テ區民奉命ノ責務及之ヲ辭
スルヲ得ヘキ原由至當ノ原由ナリシテ猥ニ奉命ヲ拒ム者ノ
處置ハ第八條ニ照準スヘシ但シ該條ニ所謂ル團會ノ語ハ區會
團會事務官ハ區長ト見做シ又團稅增課ノ語ハ區稅增課ノ義ト
見做サハルヘカラス

(乙) 撰舉ノ認可

(第二十六條) 區長及書記ハ撰舉ヲ得ルノ後更ニ與議官ノ認可

ヲ得サレハカラストス
與議官ハ認可ヲ与ルノ前先ツ郡長ニ之レヲ通知シ其意見ヲ問
フヘシ
團會ハ其衆議ニ拠テ認可ヲ拒ムヲ得ヘシ
第一撰若シ認可ヲ得サレハ新ニ第二撰ヲナスヘク而シテ後々認
可ヲ得サルハ後別ニ撰挙シテ認可ヲ得ル迄ハ與議官ヨリ團
總代ト協議ノ上郡長ノ撰挙ヲ以テ代理人ヲ命スヘシ
右ノ處置ハ區民ヨリ更ニ撰挙セサル際ニ於テモ亦施行スル
ノトス

(丙) 誓約 誠意ヲ以テ職務ヲ奉ス

第二十七條 區長及書記ハ奉職前與議官又ハ其指令ニ拠テ代
理セル郡長ヨリ誓約ヲ受ケサルベカラス

(丁) 勤務上ニ係ル雜費ノ償給

五分

第二十八條 區長ハ私財ニシテ繰替ヘタル現金ノ返償ト其勤務
相当ノ給料トヲ求ムルヲ得ヘシ

該償給ノ金額ハ區ノ之ヲ収ムヘシ
區長ノ給料トシテ土地所有主ヨリ金銀米穀等ノ納付ハ自今廢
止スルモノトス

書記事務ノ費用トシテ從來寄附セル田園ハ此ノ條例ニ由テ
止セル者ト見做シ還付ヲ求ムヘカラス但シ右寄附田園ハ此
レニ添フタル金銀米穀等ハ曩ニ領主ヨリ一區トナリタル所領地ノ
寄附スル所ニ係ルハ該領主ハ區長ニ對シテ從來ノ如ク其土
地ニ屬スル權利ヲ施行セシテ求ムルヲ得ヘシ

此ノ如キ區ト領主トノ間ニ於ケル權利及責務ハ金銀米穀等ノ
納附責務或ハ寄附田園返却ノ償等トシテ互ニ相廢止スルヲ得
ヘシ但シ此ノ等ノ場合ニ於テ常ニ償 前文ノ如キ權利トシ

テ寄附田園ヲ與ルノ権アリ

此ノ如ク寄附田園ヲ還附スルニ方テハ下第四十一ヨリ四十五

條ニ至ル規程ニ照準スヘク即チ第四十五條第一節ニ謂ヘル雜

費ハ領主モ亦之ヲ償フニ及ハス該諸條ハ若シ参考ニテ要スルアラハ將ニ命ヲ待テ訊セン

通常書記ハ無給タルヘク唯自費ヲ以テ拂ヘル現金ノミ其償ヲ

求ムルヲ得ヘシ

區長ノ推理及責務

第二十九條 區長ハ即チ區内ノ長官ニシテ若シ郡長ヲ兼任セ

サルハ第五十六條第五節ヲ参考スヘシ總テ警察施政上ニ在

テ郡長ノ屬官タルヘシ

第五十六條第五節ニ曰フ特ニ一區又ハ一府領地ヨリ解前見

ヨリナレル郡ハ其區長又ハ領主ハ直チニ郡長ヲ兼ヌ

包

故ニ區長ハ區内ノ安全ヲ保護スルカ爲ニ警察上迅速ノ着手ヲ要スルハ假リニ之ヲ測定施行スヘキ推理及責務アリ

第三十條 區長ハ其ノ推理及責務ヲ有ス

第一 千八百五十年二月十二日ノ人身自保保護規則第二

條第一節先第六條ニ從ヒ臨時人ヲ緝捕シ及拘留スルヲ得

但此ノ際遅クモ十二時間ニ郡長ニ之ヲ告知スヘク又郡長

ハ速クニ其尚ホ拘留スヘキト放免スヘキトヲ決答シ該規

則ニ照準シテ其他ノ處置ヲ定令スヘシ

第二 警察上ノ監督ヲ受クヘキ人質即チ一旦罪科ニ受ケタル者等ノ

監督ス

第三 郡長、檢事及警察檢事ノ令ヲ奉シテ警察規則ヲ施行

シ罪犯ヲ判理ス

第四 千八百四十二年十二月三十一日ノ貫屬編入條令ノ

第八條 示セル届書ヲ受理ス

包
7
宛

